

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2019年9月10日
研究課題名：茨城心不全評価研究 Ibaraki Cardiovascular Assessment Study -Heart Failure 2 【ICAS-HF 2】
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2024年3月
研究対象：当院にて2015年4月1日から2022年3月31日までの間に急性心不全の診断で入院された患者様が対象となります。20歳未満の患者様は調査の対象に含めません。
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療上行った各検査 ） 上記材料の対象期間 西暦 2015年4月～2022年3月
意義・目的： 我が国では生活習慣の欧米化や高齢者の増加により、心不全による死亡が年々増加しております。茨城県においては平成21年度の人口動態統計で心疾患死亡者(人口10万人対)が150.5と全国の143.7と比較して高く、県内の心血管疾患の診断、治療、予後に関する検討は急務と考えております。我々は2012年から2018年にかけてIbaraki Cardiovascular Assessment Study Heart Failure (ICAS-HF)を行い、本県の急性心不全の実態解明に貢献してまいりました。研究終了後にもいくつかの新しい心不全治療薬が用いられるようになってきており、年々、高齢化が進む状況を考慮し、現状の心不全診療に即した新たな心不全実態調査が必要と考えております。この研究によって、茨城県の心不全患者の実態を把握し、得られた結果をより良い心不全診療に反映させることを目的としております。
方法： 本研究の対象となる患者さんは、当院に心不全で入院をされた患者様です。対象患者様の診療情報・各種検査所見を電子カルテから抽出し、そのデータをもとに解析を行います。従って本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはありません、また、データは匿名化することで個人情報情報は消去いたします。情報が外部に漏れないように厳重に管理、保管し、研究成果が公表される場合にも個人が特定されないように取り扱います。通常の診療記録から得られる過去の内容のみを使用する研究ですので、患者さま一人ずつの直接の同意は頂かずに、この掲示などによる患者さまへのお知らせをもって実施されます。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 循環器内科 菅野 昭憲（代表番号 029-851-3511）